



山形に避難されている方へ伝えたいメッセージ

CONTENTS

- ・一面 みんなで踏み出す東北六魂祭／外遊び企画開催
- ・福島県 ふくしまの今とつながる相談室 toiro です！
- ・宮城県 それぞれの歩み 宮城県山元町
- ・山形県 上映会「浪江町の昭和30年代の風景」
- ・今月のキーワード 「原子力損害賠償」
- ・みんなの声 ・おすすめ情報 ・団体情報
- ・しあわせココロのつくりかた(22) ・編集部より

第50号

つながろう！ささえあおう！
復興支援プロジェクトやまがた
TEL 023-674-7311
E-mail kizuna@yamagata1.jp
発行数：3,900部

みんなで踏み出す 東北六魂祭

お祭りパレード会場では元気なはねとが率いる「青森ねぶた祭り」、華麗に太鼓を叩きながら踊る「盛岡さんさ踊り」、軽快な仙台の「すずめ踊り」、日本一の大きさを誇る「福島わらじ祭り」、伝統と新しい踊りが躍動する「山形花笠まつり」、そして大迫

では様々な手作り工芸品の出店が軒を並べました。



「東北六魂祭2014山形」が山形市内を会場に5月24・25日の2日間開催されました。震災後に始まったこのお祭りは今年で4回目、初の山形開催です。
今年のテーマは「起」、「いざ、新しい東北へ」。

霞城公園や文翔館では、各県の名物料理や特産品が販売され、七日町

力の「秋田竿燈まつり」が披露されました。
中でも秋田竿燈祭りの披露では、風が吹く中、竿燈を大きく曲げながら支え続け、倒れても何度も担ぎ上げる姿は、私たち東北が苦難を乗り越えようとする姿にも見え、観客からは「がんばれ！」との歓声も上がりました。担ぎ手と観客の想いが一体になり、竿燈を高く担ぎ上げる姿は熱く心からこみ上げてくるものがありました。
来年は竿燈の本場、秋田市での開催が予定されています。いつか心の底から東北六魂祭をみんなで楽しめる日がくることを願っています。



復興ボランティア
支援センターやまがた



Twitter



facebook



<http://www.facebook.com/fvsc.yamagata>

備えあれば憂いなし！安全に楽しく外遊び企画開催



庄内での保養の場を提供する「フクシマの子どもの未来を守る家」(以下「守る家」)は、より安全な野外活動実施を目指し、五月の連休前に「自然体験活動の安全管理」研修会を開催しました。

講師は井東敬子氏(リードクライム株式会社)、「リスクを意識・回避、予期せぬ事態が生じて何をするかを理解する」を目標に、イベントでの実際的な提案と方法を学びました。啓発的な内容で多くの収穫がありました。

そして、いよいよ5月4日(日)に「赤川河川敷で遊ぶ会&バーベキュー」開催。予想される危険の対応、万が一の備えをしましたが、それでも参加者のお子さんに思わぬケガが発生！提案を生かした適切な処置をし大事に至らずに済みました！「守る家」はこれからも子ども達のあらゆる安全を考えながら活動していきます。(鶴岡市S)

From 福島

ふくしまの今とつながる相談室 toiroです!



■ふくしまの今とつながる相談室 toiro

【相談ダイヤル】TEL **024 - 573 - 2731**

【開設時間】月・水・金

10:00 ~ 17:00 (祝祭日はお休みとさせていただきます。)

【運営】一般社団法人ふくしま連携復興センター

ふくしま連携復興センターでは、福島県外に避難されている方を対象とした電話相談窓口を始めました。名前は「ふくしまの今とつながる相談室toiro」。

県外で生活されている方々の悩みや想いは十人十色だと思います。様々なご相談をひとつひとつ丁寧に受け止め、解決に向けてお手伝いしたい。そんな相談窓口です。

「福島に戻りたいけど除染が

ちゃんと進んでいるか心配」「県外避難から戻ったママたちと情報交換したい」「避難者のイベントに福島県内の状況を話せる人を呼びたい」様々なご相談やお問い合わせに対応します。

まずはお電話いただき、お名前・電話番号を頂戴できれば、こちらからかけ直してお話を伺います。電話代のご心配なくお電話ください。

From 宮城

それぞれの歩み

宮城県山元町



震災から3年がすぎ、4年目の今をそれぞれに歩んでいます。

壊れた建物を目にする事も少なくなり、瓦礫の仮置き場や震災ゴミ焼却場も撤去され、沿岸部を走るダンブカーは以前より少なくなりました。

新しい防潮堤の姿も目に見えて伸び、工事の進み具合を実感するとともに、いくばくか安堵感も感じられるようになりました。

震災の年や翌年に住宅街跡や田畑跡で見られなかった小鳥やチョウチョも今年の春は目に付くようになりました。自然も徐々に戻っているようです。

山元町では昨年4月より宮城県下で最初に災害公営住宅(復興住宅)の入居が始まりました。そんな中、今年の4月に津波で天井まで浸水した自宅を片づける決心をした方もいます。

5月からボランティアさんの手を借りながら、家具を外に運び出し、床板



を剥がし、固形状の土砂を取り除きました。このお宅に住むかは判りませんが悩まれています。でも一歩踏み出したのです。

そんな折り、このお宅に初めてツバメが巣を作りました。歩む速度は人それぞれ。それぞれに歩んでいきましょう。



From 山形

上映会「浪江町の昭和30年代の風景」

5月22日、山形市避難者交流支援センターにて、浜通り交流会が開催されました。

浜通り交流会は、福島県浜通りから山形県に避難されている方の交流を目的として定期的に行われています。

今回の交流会のメインは、上映会「浪江町の昭和30年代の風景」。

映像は浪江町牛渡地区の方が昭和30年代に撮影したホームムービーで、日常の生活模様、故郷の景色、結婚式やお祭りなどの懐かしい風景が映し出されました。

映像に知人などが登場する場面では歓声が起こり、交流会の参加



者は「とっても懐かしいです。今は帰れないけど、故郷の姿は頭に焼き付いているので、それを心の糧に生活していきたい。」と、故郷への想いを話していました。

今回上映にご協力いただいた山形県映画センターの宮沢さんは、「ドラマとは違って起承転結はないけれど、その頃の時代の空気を明らかに魅らせる。自分の人生と重ね合わせて共感したり、忘れていた思い出を甦らせるきっかけづくりになる。明日の暮らしに前向きになってももらえればと思っています。」と思いを語られました。(小)

kizuna@yamagata1.jp

みんなの声

借り上げ住宅も延長になり、もっとも山形に残れる事をうれしく思っています。

(伊達市→山形市 女性 30代)

まりもっこり

子ども達も私もお友達が出来ました！毎日楽しく過ごせてます。もうすぐ夏(〃)。一杯お外で遊びます♡

(福島市→河北町 女性 20代)

避難してきて3年目。山形のおいしい季節の野菜をくれるおばちゃん。一緒に遊んでくれるママ友。みんな親切で本当にありがたい。大好きです山形♡感謝♡ありがとう♡。

(南相馬市→上山市 女性 20代)

放射能を気にして避難している私は、買う物にも気を使っているのでつかれてしまっています。何も気にしていない方が楽しく明るく生活できるのに……。でも子どもの為がんばります。

(福島市→天童市 女性 30代)

南相馬市から避難してきて3年。子どもも3人に増え、借り上げ住宅も手狭に……。でも、これからは福島で暮らしている祖父母と新しい第一歩を踏み出します!!

(南相馬市→天童市 女性 30代)



「みんなの声」にツバヤキを送ろう

あなたの今の気持ちを掲載してみませんか？

「みんなの声投稿フォーム」<http://kizuna.yamagata1.jp/modules/ceniter/?form=2>まで。以前と今のお住まいの市町村も添えていただければ幸いです。うえるかむへの要望や意見、質問なども受け付けています。



●カナダの友人からメールが届きました。18年も会っていないのに遠いカナダで心配してくれる、その優しさに勇気と元気をもらいました。(相馬市→山形市 女性 50代)

「Are you back in Soma-shi yet? Please let me know if I can support you in anyway. I know the Tsunami is long over, and people in Japan are strong and independent, but I think real recovery must take a long time.

(相馬市にはもう戻りましたか？日本人は自立心があって強いけど、時間が経っても津波の被害から本当に元気になっていくには、まだまだ長い時間がかかると思います。どんな事でも、私にできる事があれば知らせてください。)」

今月のキーワード 原子力損害賠償

原発事故により被害を受けた皆さんは、一定金額の賠償を受けられている方も多いと思いますが、その原子力損害の賠償について、少しご紹介させていただきます。

原子力損害の賠償には、3つの損害賠償請求の方法があります。

1つ目は、皆さんがご存知の**東電への直接請求**になります。

2つ目は、東電の直接請求にご納得いただけない方や個別事情を勘案して欲しい方が利用される「**原子力損害賠償紛争解決センターへの和解仲介の申立て**」(通称ADR)です。

3つ目は、**訴訟(裁判)**になります。これらの損害賠償請求の方法には、それぞれメリット、デメリットがありますが、ここでは、避難されている皆さんがよく利用されている「**原子力損害賠償紛争解決センターへの和解仲介の申立て**」(通称ADR)について少しご説明します。

ADRという言葉は、少し知っているという方も多いと思いますが、東電への直接請求には不満があるが、裁判みたいにお金がかかり長期的に争うこともしたくないという方に比較的簡単に、センターの仲介委員が皆さんと東電の間に立ち和解案を出す個別事情に応じた損害賠償請求ができる方

法です。

実際に山形県に避難されている多くの皆さんが利用し、避難費用や生活費の増加分を受け取られています。

また損害賠償に関しては、年月の経過とともにいろいろな和解案が出され、状況が常に変化しつづけます。

原発事故からすでに3年以上経った今、避難当時の状況を忘れないうちに損害賠償請求に関して様々な新しい情報を知り、避難されている皆さんが生活再建の為にそれぞれ考えていただきたいと思っています。



■原子力損害賠償のご相談(山形県内相談会、個別相談等)に関するお問い合わせ先

原子力損害賠償支援機構

フリーダイヤル 0120-330-540

★山形県から福島県に戻った方々向けに福島市・郡山市でも毎月1回相談会を開催していますので、上記フリーダイヤルまでお問い合わせください。



シアワサコラム しあわせココロのつくりかた (22)

カウンセラー・スピリチュアルケアアドバイザー 志村友理

日中の暑さにグッパリ。何もしたくない〜という日もあるものです。でもグータラな自分を責めないで だるいと感じる時は体からSOSのサインです。急けているように感じる自分にムチを打ち頑張り過ぎないように。

「こうしなければならない!」という決まり事に追われると辛さが増してしまいますから、自分の心と体の声を素直に感じ、休憩タイムを取りましょう。

夕暮れ時にもなれば涼しい風も渡ってきます。夕涼みのひと時を味わうなどの心の余裕は、感性豊かな美しい自分を育みます。

寝苦しく眠れない夜は寝ることを焦らずに。

月や星が輝く夜なら、その美しさを堪能してみましょう。それにね、山形には月山があり、そこには月読命という月の神様がいらっしゃいます。せっかくだもの月に願いを・・・



カウンセリング・ルーム メール相談: ryokusuinomori@yahoo.co.jp



おすすめ情報

【村山地区】

■ 山形県内の岩手県・宮城県出身のみなさまへ

【いわてカフェ♥みやぎカフェ この夏オープン】

～毎月第1土曜日 初回は日用品のお土産付き！～

岩手県、宮城県出身のみなさまの専用交流スペースがオープンします。季節のドリンクを飲みながら、同郷の方とお話しませんか？

○みやぎカフェ ※奇数月・第1土曜日

開催日：7月5日（土）、9月6日（土）、11月1日（土）

○いわてカフェ ※偶数月・第1土曜日

開催日：8月2日（土）、10月4日（土）、12月6日（土）

☆各会場：山形市避難者交流支援センター（山形市落合町1）

☆各開催時間：10：30～12：00

【問合せ】山形市避難者交流支援センター

TEL：023-625-2185



■ 寺子屋子ども大学 ～避難世帯向けの学習支援と遊び体験～

対象：山形県に避難している小中学生

（山形県在住の友だちも参加可能）

参加費：100円（保険料など、任意）

日程：いずれも9：30～11：30

6月29日（日）※臨床心理士・加藤玲子先生参加

7月13日（日）

場所：真宗大谷派山形教務所 本堂

（山形市木の実町9-26）

【問合せ】TEL：023-628-4917（平日午前：松尾研究室）

TEL：070-6475-3599（藤井）

メール：kmatsuo@human.kj.yamagata-u.ac.jp

【置賜地区】

■ ふわっと 学習支援 参加者募集！！

おにぎりの提供もあります。お待ちしております♪

場所：ふわっと（米沢市門東町3-3-7 おいたまサロン2F）

駐車場：（株）モロオカ駐車場をご利用ください。

○ベンジャミン・ゲッセルさんの英語で遊ぼう

開催日：月1回 ※日時はお問合せください。

幼児／15：30～16：00 学童／16：10～16：50

○あいうえお教室（未就学児～）

開催日：月・水曜日 14：30～

○宿題終わそう教室（小学生～）

開催日：月～金曜日 16：00～

○パソコン教室（大人向け）

開催日：週1回 10：00～ ※事前予約制

持ち物：パソコンをお持ちください。

【問合せ】避難者交流サロン ふわっと

TEL：070-5473-8543

E-mail：little_fukushima_in_oitama@yahoo.co.jp



【庄内地区】

■ HAND WORK「手しごとマーケット」開催のお知らせ

“HAND WORK 手しごとマーケット”は、もの作りをされている方々が、自分の作品を販売することで東日本大震災被災者支援活動につなげていくことを目的としています。

売上金の一部は、2011・3・11の津波で大きな被害を受け、仮設集会場にて「手しごと」をおこなっている、宮城県石巻牡鹿半島の方々にミシンを届けます。

日時：7月6日（日）9：00～16：00

会場：鶴岡協同の家「こびあ」1F中央通路
（鶴岡市余慶町1-2）

【問合せ】鶴岡生協教育活動センター

（鶴岡協同の家こびあ2F）

TEL：0235-25-3322

E-mail：sn.kkyouikic@todock.jp



【保養情報】

■ 第14・15回 山形県小国での保養

飯豊・朝日両連峰に抱かれた里山で、ちょっとゆっくりしてみませんか？子どもたちと一緒に楽しみましょう！

日程：第14回7月19日（土）～21日（月）2泊3日

第15回8月15日（金）～17日（日）2泊3日

場所：おだまきの家

（西置賜郡小国町大字新股字堤の下195）

☆福島市から約2時間。

☆参加者には後日アクセスマップをお送りします

対象：東日本大震災で被災された方

定員：各回20名程度

※部屋数は7部屋、家族単位でのご利用になります

参加費：1泊2日 大人1500円 子供1000円（保険料含）

2泊3日 大人3000円 子供2000円（保険料含）

内容：初日13：00現地集合、最終日昼食後現地解散

川遊び、ホタル狩り、畑の収穫、プール

クライミング等、季節の野外活動

また、地域のお祭りなどにも参加します。

申込方法：下記の申込先に必要事項をご記入の上、メールかFAXでお申し込みください。

①参加者全員の氏名（フリガナを付けて）、性別・生年月日

②住所・郵便番号

③電話番号・メールアドレス（パソコンのものがあれば）

④キャンセル待ちの希望の有無

申込締切：先着順

※順次決定し、お知らせいたします

【問合せ・申込み】

山形つながるプロジェクト（担当 徳永）

TEL：080-6033-0596 FAX：023-688-8137

メール：mikatoku2289@yahoo.co.jp

ブログ：http://tunagarupro.blogspot.jp/



うえるかむは各地に設置しています

【山形市】復興ボランティア支援センターやまがた／村山総合支庁／山形県庁1F／山形市内の公民館・コミュニティセンター／山形県立図書館／山形市避難者交流支援センター／山形市総合福祉センター／真宗大谷派山形教会／立石寺華蔵院／ままカフェ@home／福山ひろば／ふくしま子ども未来ひろば／あいびい保育園／りとる福島／山形市市民活動支援センター／チェリア／アンビランス／Hair with Water／生活協同組合共立社（CO-OP）（山形県内）／ハローワーク山形【天童市】天童市避難者サロン／願行寺【寒河江市】寒河江市社会福祉協議会／フローラSAGAE 1F／村山総合支庁西庁舎／寒河江市立図書館／寒河江郵便局／ゆ〜チェリー【上山市】上山市社会福祉協議会／上山市まちづくりセンター「ござってえ」／長屋門ギャラリー【東根市】東根市タントクルセンター／東根市社会福祉協議会【村山市】甌葉プラザ【米沢市】置賜総合支庁／米沢市役所1Fロビー／避難者支援センターおいで／ハラク書店／万世コミュニティセンター／おいたまサロン・ふわっと／ハローワーク米沢【南陽市】南陽市社会福祉協議会【高島町】高島町役場1F／浜田広介記念館／永和軒【川西町】おきサポ／おもいで館【鶴岡市】鶴岡市立図書館／フクシマの子どもの未来を守る家【酒田市】酒田市ボランティアセンター／酒田市公益活動支援センター／NPO法人にこっと／ハローワーク酒田【庄内町】庄内町社会福祉協議会【三川町】庄内総合支庁／イオンシネマ三川【新庄市】最上総合支庁【金山町】山形県遊学の森「木もれび館」【福島県】うつくしまNPOネットワーク／NPO法人福島ライフエイド／NPO法人シャローム／NPO法人ビーンズ福島／（一社）ふくしま連携復興センター／相双ボランティア準備室／南相馬市立中央図書館【宮城県】東北ろっけんパーク／ハート&アート空間“ピーアイ”【秋田県】道の駅せんなん【埼玉県】With you さいたま

ひと休み

じゃがいもの収穫が始まると、くじら汁の美味しい季節が始まります。スタミナ満点！

くじら汁

＜材料＞4人分

塩くじら	100 g	だし汁	600cc
たまねぎ	200 g	酒	大さじ2
じゃがいも	200 g	しょうゆ	大さじ1～
人参	50 g	みりん	大さじ1
さやいんげん	50 g		

＜作り方＞

- ① 塩くじらは、さっとお湯をかけて塩を抜く。
- ② たまねぎ、じゃがいも、人参、さやいんげんは食べやすい大きさに切る。
- ③ だし汁に②の材料を入れ、柔らかくなったら、調味料で味つけをして食べる。

* 塩くじらの塩分があるので、しょうゆは加減してお好みになしてください。



レシピ提供：在来作物案内人 鈴木淳子さん

☆ブログ「鈴木淳子の楽しむ食育」もご覧ください♪ <http://ameblo.jp/hanamizuki-junko/>

団体紹介 子ども支援ボランティア「チーム飛躍」



「チーム飛躍」は、昨年度開催された庄内の避難児童の学習支援を、今年度も継続するために結成されたボランティア団体です。鶴岡市ボランティアセンター登録団体として鶴岡市社会福祉協議会の後援を受けながら、市民ボランティアが手弁当で活動しています。学習指導経験者や退職教職員が支援メンバーとなり、少人数でもニーズがある限り気持ちに寄り添い、お子さんたちの自尊心を育てるお手伝いをしていきたいと願っています。

お問合せ
はこちら

子ども支援ボランティア「チーム飛躍」

連絡先：0235-64-1768

メール：team_hiyaku_311@yahoo.co.jp

サイトリニューアルしました
山形県に避難しているすべての方々へ

つながろうNET

<http://tsunagarou.net/>

編集部より

次号は7月16日発行です

情報提供や寄稿は、
7月2日までにお寄せ下さい。
お待ちしております！

避難者向けフリーペーパー「うえるかむ」

発行元：つながろう！ささえあおう！

復興支援プロジェクトやまがた

〒990-2412 山形県山形市松山三丁目14番69号

「復興ボランティア支援センターやまがた」

TEL 023-674-7311 FAX 023-674-7312

E-mail kizuna@yamagata1.jp

WEB <http://kizuna.yamagata1.jp/>

☆「つながろうNET」
がリニューアルして
見やすくなりました。
モバイルでもOK、
ぜひご覧くださいね。



つながろうNET

* アクセル踏みっぱなしで暴走しないように、たまにN、時々Pにしようと心がけ中。心も体も安全運転で（海）

* みなさまに支えられ、今回で50号！これからもよろしく願います。（サチ）

* 「6月になり新規の津波浸水宅の屋内掃除、土砂出しボランティア依頼」があり驚きました。（くまもん）

* 避難当時、辛くて苦しくて目に涙をためていた彼女が、3年経ち、いまは凛とした表情で、自分の生活を作っています。そんな姿に、私も元気をもらっています。（多）

* 避難当時、辛くて苦しくて目に涙をためていた彼女が、3年経ち、いまは凛とした表情で、自分の生活を作っています。そんな姿に、私も元気をもらっています。（多）